

第15章 福島県立図書館

第1節 概要

1 運営方針

県民の生涯にわたる多様な学習活動と調査研究に資するため、計画的に資料の収集整備を図るとともに、「図書館の図書館」として県内公共図書館への支援機能の充実を図り、また、同図書館等との緊密な連携を促進し、県民に情報化時代に即応した図書館サービスの推進を図った。

(1) 図書館資料の収集・整備

各部門の基本図書及び参考図書について、計画的に収集を行い整備充実に努めた。

特に、郷土資料については、悉皆収集に努め、その利用促進を図った。

(2) 調査相談機能の充実

① 調査相談業務の強化

利用者の調査研究を効果的に援助するため、主題別閲覧体制の充実強化を図るとともに、各種調査相談に迅速的確に対応するため、二次資料の整備に努めた。

② 相互貸借の推進

図書館資料の利用機会の拡充を図るため、県内外図書館等との連携を密にし、積極的な相互貸借による必要資料の提供に努めた。

(3) 児童図書研究の推進

市町村立図書館・公民館図書室に対し、児童奉仕のあり方、運営の方向性を与え、あわせて、研究資料の収集を充実させ、市町村立図書館・公民館図書室職員の研究学習の場を提供するとともに、地域・親子読書文庫の育成に努めた。

(4) 協理事業の推進

① 職員研修の充実

県内の図書館関係職員について、専門職員としての資質の向上を図るため、研修の充実に努めた。

② 読書活動指導者の育成

県内各地に広がりを見せている読書活動の環を育て、地域における読書活動指導者の養成に努めた。

③ 協力車業務の充実

県立図書館と他の公共図書館とのサービス業務等の連絡調整、並びにサービスの拡大を図り、図書館のネットワークの確立とその強化に努めた。

(5) 図書館未設置地域に対する奉仕

移動図書館車「あづま号」の定期的な運行と、親子読書文庫の巡回等を行なうほか、市町村に対する一括貸出の実施等全県的な読書普及活動に努めた。

(6) 県立図書館情報ネットワーク事業の推進

余暇時間の増大や高齢化の進行に伴い、県民の生涯にわたる多様な学習活動に対応するため、図書館業務の電算化を推進し、図書館の運営の迅速化・効率化を図るとともに情報ネットワークを推進し、県内図書館等との緊密な連携

に努めた。

2 図書館協議会

(1) 図書館協議会委員名

[任期：平成9年8月7日～平成11年8月6日]

条 項	氏 名	役 職 名
第1号	小林 正守	福島県中学校長会事務局長
	大槻 忠	福島県高等学校長協会
第2号	伊丹 節子	福島県婦人団体連合会理事
	小熊與太郎	福島県公民館連絡協議会長
第3号	佐々木恵寿	福島県青少年団体連絡協議会長
	高橋 啓子	福島県社会教育委員
第5号	山口 勇	福島県議会議員
	庄司他人男	福島大学教授
	神林 喬	日本放送協会福島放送局長
	内池 浩	福島県商工会議所

(議長) 庄司他人男 (副議長) 大槻 忠

(2) 会 議 [平成10年1月30日 於：県立図書館] (議題等)

- ・図書館運営方針及び事業概況について
- ・平成9年度県立図書館利用状況等について
- ・県立図書館情報ネットワーク推進事業について

第2節 資料の収集・整理

県民の資料に対する要求も年々多様化・専門化の傾向が顕著になってきているため、それぞれの分野でよりきめの細かい収集に努めた。

1 図書館資料の収集

(1) 一般資料の収集

昨年度に引き続き、人文科学・社会科学・自然科学それぞれの部門で参考図書の充実に努めた。また、各部門とも専門分野における基本資料の整備に努めた。

(2) 郷土資料の収集

県の地域振興事業調整費(うつくしま夢づくり助成金)を活用して県内市町村等で作成された、地域づくり関連図書の収集を計った。また、本宮町・岩越雑厩堂の手作り限定版豆本など、郷土関係出版物の悉皆的収集に努めた。

(3) 視聴覚資料の収集

「智恵子抄」「松川事件」「斎藤清 ふるさと会津を彫る」のビデオテープなど、郷土関係のものを中心として収集を計った。